枚方市駅周辺のまちづくりに関する市民意見聴取会（全 6 回）意見概要まとめ

■ 全 6 回の総括

【新庁舎のあり方と行政窓口】

- 市役所の位置については、現在地周辺（市民会館跡地周辺）での早期整備を望む意見が寄せられる一方で、車での来庁の利便性についての意見も見られました。
- 分散している窓口をワンフロアに集約し、デジタル化が進む中でも対面窓口の存続や市民の交流機能を求める声がある一方で、将来の DX 進展を見据えた庁舎のダウンサイジング・コンパクト化（市役所の必要規模の縮小）の可能性や、市役所の機能によっては必ずしも駅前でなくてもよい（窓口機能以外など）といった意見や、市役所の位置に関わらず、枚方市駅にアクセスすることが難しい市民でも、必要な行政サービスが受けられるよう支所機能の充実を求める意見もありました。

【駅前空間と市有地の利活用】

- 駅前に市役所とニッペパーク岡東中央が隣接する現在の環境を高く評価し、同公園の緑をさらに豊かにしたり、子どもが無料で遊べる広場や災害時の避難場所として機能させてほしいという声が寄せられました。
- また、先人が残した貴重な市民の財産である市有地を民間に売却せず、将来世代に市有地を引き継いでほしいとの思いが寄せられました。
- 一方で、市の土地を有効活用し、商業施設等を誘致することが税収増や人口減少対策につながるといった意見もありました。

【事業の進め方（スピード・財政他）】

- 現庁舎の老朽化や災害への備えに対する切実な思いから、防災拠点となる新庁舎の早期整備を望む意見が見られました。
- また、建設費用の高騰などを背景に、大規模な開発を見直しすべきとの声、財政負担を懸念する声が挙げられています。

【まちの将来像と全市的なつながり】

- 図書館、文化施設、スポーツなど文化・歴史・交流をはじめとする多様な機能を、子育て世代を含め幅広い世代が過ごしたくなる「枚方らしさ」を感じ、「住み続けたくなる（住んでよかったと思える）まち」への期待が示されました。
- 個別のアイデアとして、自然エネルギーを利用した設備や歩車分離の安全な道路などのアイデア、大学キャンパス誘致による経済活性化の提案、歴史ある建物の良さをいかした中之島のような雰囲気づくりなど多様な視点が示されています。
- 一方で、駅周辺の再整備にとどまらず、東部などを含めた市内全域からのバス路線（交通ネットワーク）の維持・充実や外出支援、公園の草刈りといった身近な対応など、市全体の暮らしやすさとのバランスを大切にしてほしいというご意見も寄せられました。

■ 各回の意見概要

開催回・参加者数	新庁舎のあり方と行政窓口	駅前空間と市有地の利活用	事業の進め方（スピード・財政他）	まちの将来像と全市的なつながり
第１回 8/21（金）14 時 @市役所第3分館 1階 第3・4集会室 参加者：23 名 意見用紙：9 名	● 現庁舎の老朽化等に伴い、「現在地周辺（市民会館跡地等）」での早期決断を求める声がありました。 ● 高齢者にもアクセスしやすい立地の維持が求められています。 ● その一方で、距離的な近さにはこだわらず、「行きたくなる市役所」にしてほしいという意見もありました。	● 駅前に市役所と公園が隣接する現在の環境を高く評価し、緑をさらに豊かにして気軽に憩える空間を望む声がありました。 ● 市有地の活用については、過度な商業施設の開発には慎重になるべきとの声が上がりました。 ● 対照的に、分散している庁舎や遊休資産を売却して新庁舎の建築に使うなど財政的な補填を工夫すべきという意見や、住宅や商業施設を誘致して税収増や人口減少対策に繋げるべきといった提案もありました。	● 災害への備えや建設費用の高騰に対する懸念から、防災拠点となる新庁舎の早期整備が求められています。 ● 事業を進めるプロセスにあたっては、地域レベルでの説明会など、きめ細かく市民の声を聞く機会が求められました。 ● さらに、若い人の意見を積極的に取り入れる工夫が必要だという指摘や、市の土地売却や移転理由について市民を安心させる説明の機会を設けてほしいという要望が寄せられました。	● 子育て世代が魅力的だと感じるにぎわいのある駅前が必要という声や、「枚方らしさ」を感じられる駅前になってほしいとの期待が示されました。 ● 駅周辺だけでなく、バスの減便や駐車料金の問題など、市内全体への目配りや交通インフラの配慮を求める意見が幅広く上がっています。 ● また、歩行者・自転車・車の分離や、遊戯鉄道などのアクセス手段の導入といった個別のアイデアも寄せられました。
第２回 8/21（金）19 時 @市役所第3分館 1階 第3・4集会室 参加者：14 名 意見用紙：7 名	● 老朽化・狭あい化した庁舎の市民会館跡地等での早期建て替えを求める声が寄せられました。 ● こうした意見がある半面、AI や DX 等を踏まえ、庁舎をダウンサイジングすべきという意見も提示されました。 ● また、空きテナントへの庁舎移転など、民間施設を活用した代替案も提案がありました。	● 駅、市役所、公園が近接する現在の環境を大切にし、ニッペパーク岡東中央のみどりを維持・充実させることを望む声がありました。 ● 過度な商業施設や高層マンションではなく、図書館や子どもの遊び場などを備えた空間が求める声がありました。 ● 一方で、容積率などを緩和して高層の施設を建て、駅前の魅力を高めてほしいという意見がありました。 ● また、高架下を活用した「ひらパー商店街」づくりや、⑤街区への大学キャンパス誘致など、独自の視点からの提案も寄せられました。	● 建設費高騰などを背景に、大規模な連鎖型開発は見直し、市有地を活用して単独建て替えを先行させ財政負担を抑えるべきという声があがりました。 ● 用地取得に費用をかけず、王仁公園プールの修理など市民生活に財源を使ってほしいという意見もありました。 ● プロセス面では、「市長自らが直接対話すべき」「自治会単位等での説明」などを求める声がありました。	● 家族や若い世代が一日過ごしたくなる魅力ある駅前づくりが求められています。 ● 「にぎわい事業」として多様な取り組みがされている「枚方らしさ」を大切にすべきという声が寄せられました。 ● また、単なる駅前の開発にとどまらず、子育て支援など市民生活を支える施策を重視し、市全体が心豊かで安心できるまちになってほしいという思いが示されました。

開催回・参加者数	新庁舎のあり方と行政窓口	駅前空間と市有地の利活用	事業の進め方（スピード・財政他）	まちの将来像と全市的なつながり
第３回 8/23（日）14 時 @市役所第3分館 1階 第3・4集会室 参加者：18 名 意見用紙：4 名	● 災害時の拠点となる市役所を、市民会館跡地等の駅近に早期に建て替えてほしいという意見が寄せられました。 ● デジタル化が進んでも、対面相談の場として市役所は必要だとの声が上がっています。 ● 駅近への整備を求める意見が多い一方で、IT 化を踏まえて市役所をコンパクトにし、駅から一定程度離れてもよいとの意見もありました。 ● また、中心拠点だけでなく、地域に庁舎を建てることや既存建物の耐震強化の検討も必要だという声も寄せられました。	● ニッペパーク岡東中央の緑をさらに増やし、子どもが無料で安心して遊べる広場や、災害時の避難場所として機能させてほしいという意見がありました。 ● 駅前には、投資目的の高層住宅や過度な商業施設ではなく、図書館や市民交流の場など市民のための空間を求める声がありました。 ● 一方で、スポーツやイベントに使えるアリーナを整備する案も提案されました。	● いつ災害が起きるか分からないため、防災拠点の整備を最優先課題としてスピード感を持って進める必要性が指摘されました。 ● 市の跡地を売却することには反対する声があり、財政負担を抑えつつ限られた財源を有効活用すべきとの意見がありました。 ● プロセス面では、市民への説明を広く行ったうえで住民投票を実施する案や、発言内容を趣旨が分かる形で公表してほしいといった、対応を求める意見が示されました。	● 災害、文化、子育て、高齢者等、幅広い世代が暮らしやすく、自慢できる枚方にしてほしいという期待が寄せられました。 ● 駅前空間の開発だけで完結するのではなく、市全体のバランスを重視したまちづくりが求められています。 ● バス等の公共交通や待合環境の整備、外出支援の充実を含め、市内各地域からのアクセスを考えたまちづくりを望む意見がありました。
第４回 8/27（木）14 時 @市役所第3分館 1階 第3・4集会室 参加者：22 名 意見用紙：8 名	● 老朽化と自然災害への懸念から、市民会館跡地などの市有地を利用して早期に建て替えてほしいとの声がありました。 ● 分散している窓口をワンフロアに集約し、高齢者等にも利用しやすい市役所にすべきという意見が寄せられています。 ● 一方で、車で市役所を訪れる人も多いため、駅近だけが良いのかは検討の余地があるという視点も示されました。	● ニッペパーク岡東中央の緑を維持・拡大し、イベントや避難場所としても使える広い公共空間を確保してほしいという意見が寄せられました。 ● 見晴らしの良い景観を守るためにも、過度な商業施設やタワーマンションの建設は控えてほしいとの声が上がっています。 ● また、市有地を民間に売却や借地させないことが極めて大事だという意見がありました。 ● 一方で、建設費が高騰しているため、民間活力を利用して行政の支出を抑える方法を検討してほしいという提案もありました。	● 現庁舎の倒壊リスク等を踏まえ、災害拠点となる市役所を、スピード感をもって整備してほしいとの声がありました。 ● プロセスについては、移転条例案が否決されたことへの言及があり、今さら市民の声を聴くことが不思議といった疑問の声や、全員の意見一致はあり得ないため聞いた意見を踏まえて迅速に意思決定してほしいという要望がありました。 ● 一方で、建替え等は頻繁に起こることではないため、皆が納得できるよう十分に検討してほしいという慎重な声も上がりました。	● 10 年後 20 年後の子育て世代の意見を取り入れ、その世代が住み続けることで賑わいを生み出してほしいという将来像を期待する声がありました。 ● 駅周辺の再整備にとどまらず、長尾駅などを含めた市内全域からのバス路線や交通環境の改善を求める声があがりました。 ● 公共交通を福祉と考え、高齢者が楽しんで暮らせる広いまちづくりを目指してほしいという意見が寄せられました。

開催回・参加者数	新庁舎のあり方と行政窓口	駅前空間と市有地の利活用	事業の進め方（スピード・財政他）	まちの将来像と全市的なつながり
第５回 8/27（木）19 時 @市役所第3分館 1階 第3・4集会室 参加者：9 名 意見用紙：2 名	● 市民が気軽に頼れるよう、市民会館跡地などの現在地周辺を活用した防災拠点となる市役所の早期整備を求める声が寄せられました。 ● 窓口があちこちに分散せず、1つの建物で用事が済む利便性の高い庁舎にしてほしいとの思いが示されています。 ● 新しい庁舎への建て替えを望む声の一方で、「60 年の歴史がある市役所の建物をすべて壊すのではなく、少し残して歴史ある良い雰囲気を出してほしい」という意見もありました。	● 駅前に広がるニッペパーク岡東中央などの公共空間を維持・拡大し、防災機能を備えた憩いの場として活用してほしいという要望が寄せられました。 ● 市有地を民間に売却せず、市民のための空間として守ってほしいという声があがりました。 ● 高層ビルは災害時のリスクがあるため、ヒューマンスケールで歩きやすい低層ビルを中心としたまちづくりをしてほしいという具体的な提案や、中之島の中央公会堂のような雰囲気のあるまちを期待する声が示されました。	● 老朽化した現庁舎の災害時のリスクを懸念し、スピード感をもって整備してほしいという意見がありました。 ● また、市民サービスを削って開発に膨大なお金を使うことはやめてほしいという声が挙がっています。 ● プロセスに関しては、公園を含む市有地の活用について市民と一緒に考えてほしいという意見がありました。	● 人口減少を見据え、官学連携の学びの環境や、五六市などの催しと連携して市外から人が集まる魅力的なまちにしてほしいという将来像が提案されました。 ● また、大型開発ではなく、公園の草刈りや上下水道管の補修など、全市的に住民が暮らしやすいまちづくりを進めてほしいという声が上がりました。 ● 市内を循環できる交通ネットワークの充実や日常の買い物がしやすい環境づくりなど、市駅周辺の開発にとどまらない全市的な視点での声がありました。
第６回 8/29（土）19 時 @市役所第3分館 1階 第3・4集会室 参加者：13 名 意見用紙：4 名	● 議会での移転条例否決の経緯も踏まえ、市民会館大ホール跡地を利用した庁舎の早期建て替えを求める声がありました。 ● 市民ギャラリーや会議室などゆとりある市民利用スペースを求める声が上がっています。 ● また、デジタル化が進む中でも高齢者などのデジタル弱者に配慮し、対面で人と人が触れ合える窓口を残してほしいという声がありました。	● 先人が残した貴重な市有地を民間に売却することへの反対意見が寄せられ、市民の財産として守ってほしいとの声が見られました。 ● ニッペパーク岡東中央には土と緑を残し、子どもの五感を育む遊び場や災害時の避難も可能な空間として機能させてほしいという意見が寄せられました。 ● また、土地を今の世代だけで使い切らず、将来世代のために余白を残すまちづくりをしてほしいという長期的な視点での提案もありました。	● 現庁舎の老朽化や水害等のリスクへの強い懸念から、防災拠点としてスピード感をもって建て替えてほしいという意見がありました。 ● 資材高騰などのリスクを避けるためにも、現在空いている市民会館跡地を活用し、財政負担が少なくなるよう決断してほしいと求める声がありました。 ● 事業の進め方については、アンケート等で出た多様な要望に対し市としてどうバランスをとり、何を重点にするのか方針を示してほしいといったプロセスへの要望が示されました。	● 野外活動センターなど東部地域の自然や農地とつなぎ、枚方全体を一つの「自給・防災圏」として育てるまちづくりの提案など、広い視野での将来像の提案がありました。 ● また、駅周辺を綺麗にしても人口減少の歯止めにはならないとして、周辺地域からのバス路線の維持・充実や運賃の直接助成、支所機能の充実など、市全体のバランスを考えたまちづくりを求める意見が挙げられました。